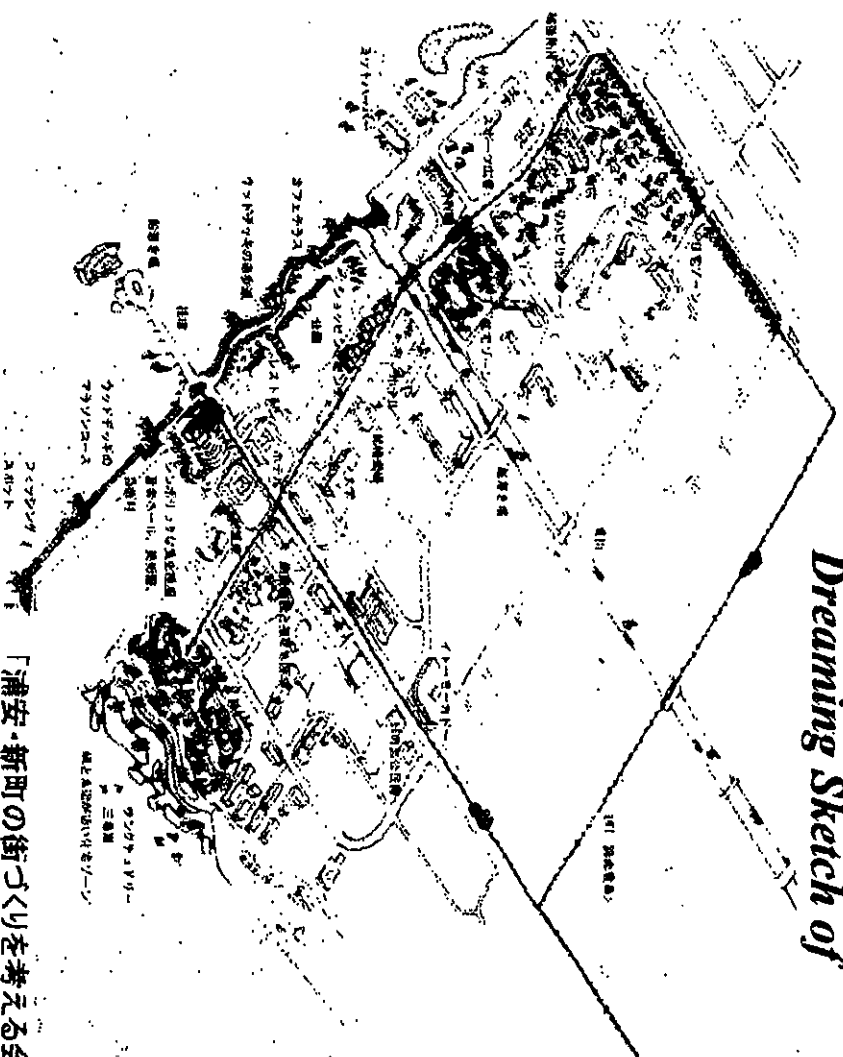


浦安市「新町の都市計画変更」について

～ 三番瀬を活かしたまちづくり(海と陸の連続性、ふれあいの場の確保)のために ～

Dreaming Sketch of



「浦安・新町の街づくりを考える会」作成

2007年12月27日

三番瀬再生会議用資料

後藤 隆

1. 今回の変更をいったん延期し、市民、県民のとの協働により知恵を集めた三番瀬を活かしたまちづくりを

- 平成15年「浦安市都市計画マスタープラン」では「協働のまちづくり」を明記。
- 「浦安市第2期基本計画策定市民会議」で、今後10年の「まちづくり」、 「環境形成（水と緑）」 について議論している最中にもかかわらず、住民説明会で説明されるまでは公表されず。
- 「三番瀬再生会議」でも住民説明会の前にまったく検討過程も報告されず、円卓会議以来、基本にし てきた徹底した情報公開と住民参加という精神に反している。
- このように今回の都市計画変更案の策定は市民、県民を無視した異常なプロセスで進められている。

都市づくりの進め方



平成15年 広報うらやす特集号
都市計画マスタープラン 5月20日発行

市民参加の推進

「今後も、まちづくりに市民が自由に主体的に参加できるシステムの整備を進めるとともに、開かれた市民参加の場を検討し進めていきます（都市計画マスタープラン広報より）」と明記。

浦安市第2期基本計画策定市民会議

「浦安市市民会議」でも今回の新町の都市計画変更について、住民説明会以前には説明されなかった。

三番瀬円卓会議・三番瀬再生会議

徹底した情報公開と市民参加に基づき「三番瀬再生会議」でも、住民説明会以前に説明されなかった。

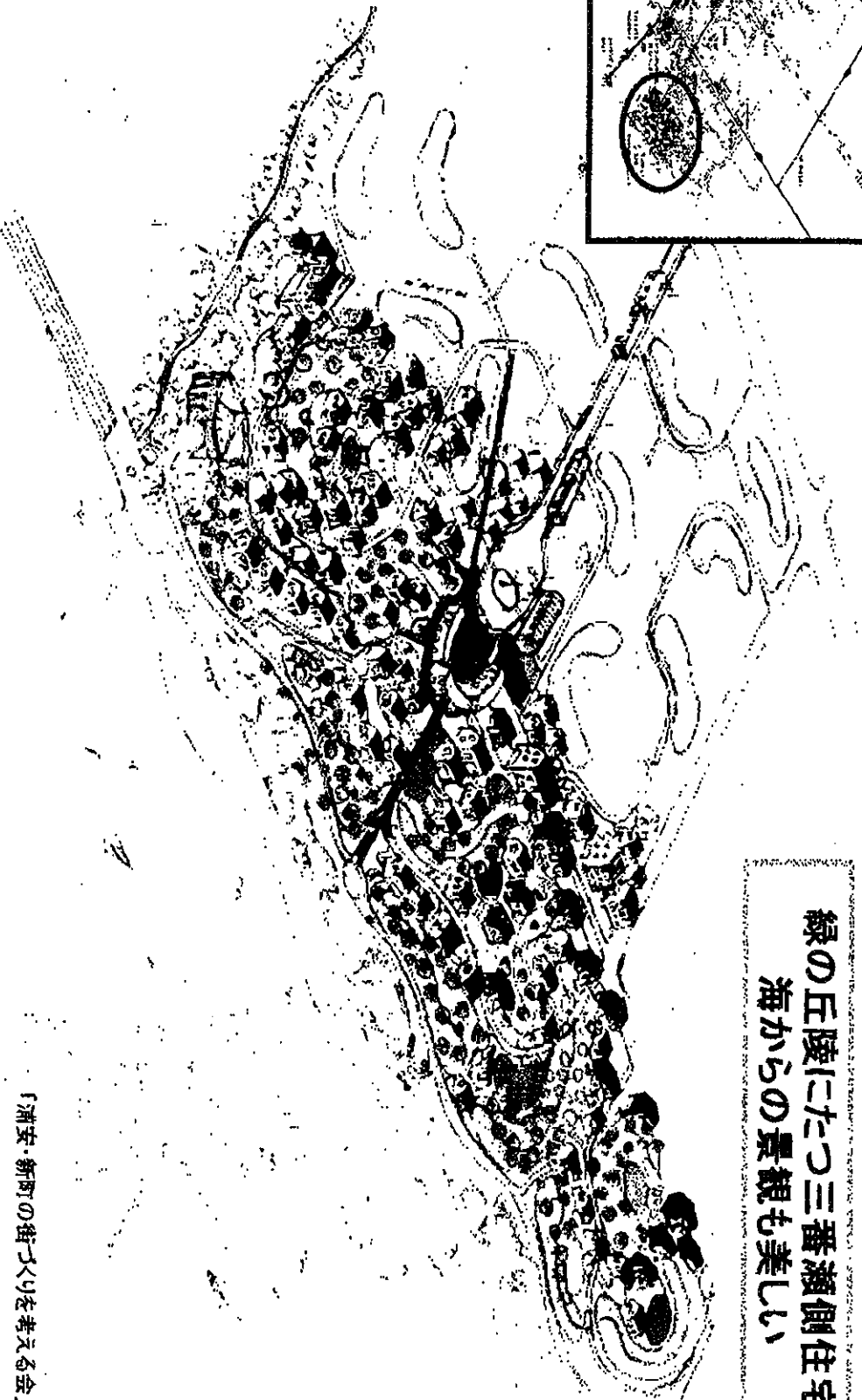
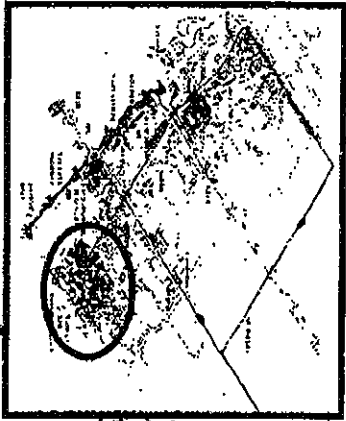
今回の都市計画変更案

浦安市、都市再生機構、千葉県企業庁の3者のみで作成。

今回の変更を延期し協働でのまちづくりを
浦安市民、浦安市、都市再生機構、千葉県企業庁、
千葉県、三番瀬再生会議の協働で、三番瀬を活かし
たまちづくりを考える場の設置を。

2. 三番瀬を活かしたまちづくり(海と陸の連続性、ふれあいの場の確保)の市民提案

○ 緑の丘陵にたつ三番瀬の自然と連続した住宅 (三番瀬を活かした「まちづくり」)



緑の丘陵にたつ三番瀬側住宅
海からの景観も美しい

「浦安・新町の街づくりを考える会」作成

- 三番瀬を活かしたまちづくりのために
- 現在の変更案では、街区ごと売られる可能性。三番瀬と断ち切られた統一のないバラバラのまちに。
- 大きなプロックでまちづくりを考えることにより、まず、「まち像」を作る必要。
- 三番瀬を活かすには、護岸、緑地、外周緑道と住宅地等を一体にした設計が必要。
- ◎ 市民、県民、行政、関連機関が協働で知恵を出し合い、三番瀬を活かしたまちづくりを協議する場を早急に設置し検討を。

○ 知恵を動かしかオーガニクスを生み出せば、緑あふれる「コモン」に变身

○ スクワンと緑で潮風から守られる住宅の設計

